

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	<u>11</u>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<u>2</u>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<u>6</u>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<u>11</u>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	<u>30</u>

事業所番号	1275600128
法人名	有限会社 グループホーム光
事業所名	グループホーム光
訪問調査日	平成 20年 3月 28日
評価確定日	平成 20年 4月 20日
評価機関名	特定非営利活動法人 日本高齢者介護協会

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 4月21日

【評価実施概要】

事業所番号	1275600128		
法人名	有限会社 グループホーム光		
事業所名	グループホーム光		
所在地 (電話番号)	〒289-1722 千葉県山武郡横芝光町目篠 2339-15 (電話) 0479-84-0999		
評価機関名	日本高齢者介護協会 千葉県支部		
所在地	〒263-0012 千葉市稲毛区萩台町 696-132		
訪問調査日	平成20年3月28日	評価確定日	4月20日

【情報提供票より】(20年 2月24日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 7 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤 1 人, 非常勤 8 人, 常勤換算 4 人	

(2) 建物概要

建物形態	単独	新築
建物構造	木造造り	
	1 階建て	1 階 ~ 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	38,000 円	その他の経費(月額)	水光熱費 15,000 円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	又は1日	1,160 円	

(4) 利用者の概要(2月24日現在)

利用者人数	9 名	男性 3 名	女性 6 名
要介護1	1 名	要介護2	3 名
要介護3	3 名	要介護4	2 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢	平均 70 歳	最低 66 歳	最高 96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	石毛医院
---------	------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

横芝光町に平成16年7月に開設された平屋木造1ユニットのホームです。周囲はのどかな畑や林で、全体にゆったりと造られ日当たりも良く、庭も広く家庭菜園や花植えなどの土いじりもできる好環境にあります。このホームのサービスの特徴は、理念にも掲げています「家庭的な環境の下で利用者が可能な限り自立した生活が営めるように」「地域の福祉に貢献する」ですが、実際ホーム全体が家庭的で職員も明るく、アンケートでも「家庭的で良い」「利用者へ目が届いている」「スタッフの皆さんに良くして頂き感謝しています」等の声が届いています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者は前回評価を活かし大幅に改善しています。前回課題の「地域とのつきあい」は町内会に加入し町内会行事に参加し、「運営推進会議の開催」は3ヶ月に1回開催しており、「家族の意見汲み上げ」は運営推進会議開催やアンケートの実施などで改善しています。「職員を育てる取り組み」は、数人の職員に外部研修を受けさせています。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者は、自己評価の意義を理解し、サービスの向上に活かそうとしています。今回、自己評価を、職員の意見を聞いてまとめています。</p>
重点項目②	<p>管理者は運営推進会議の意義を理解し、平成19年9月、11月、平成20年2月に介護保険課、民生委員、町内会長、町会議員、包括支援センター、家族、職員(管理者・計画作成者)で開催しています。当初は現在の介護保険制の説明やホームの見学などから始まり、現在は避難訓練の目的別(火事・夜間・災害)実施などを話し合っています。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族への報告は、毎月のお便りとおホームページでお知らせしています。意見・苦情の汲み上げは、その都度訪問時に意見を伺うようにし、直接言い難いことや訪問が限定的な家族には、家族ノートを用意したり、アンケートを用意し対応改善しています。又運営推進会議を3ヶ月に1回開催し、家族の意見・要望を汲み上げサービスの改善・向上に役立てています。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会に入会し、利用者の散歩時には近所の人と挨拶を交わしたり、ボランティアを受け入れたり、町主催の秋祭りや町内会主催の夏祭りなどに参加し、積極的に地域に溶け込もうとしています。最近では近所の農家から野菜の差し入れがあったり、声をかけられて職員・利用者が畑に野菜採りに出かける事もあります。今後は、地域に貢献する行事(掃除、草取り・花植えなど)への参加や、ホームを年1回開放し理解を得たり来易くなることを期待します。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念として「従業員一同は家庭的な環境の下で、利用者が可能な限り自立した生活が営めるよう努めます。」「地域の福祉に貢献するように努めます。」を掲げており、地域密着型のグループホームの指針に沿っています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を玄関と事務所に掲げ、月2回の職員打合せ時に確認し、日頃の介護サービスに活かすように取り組んでいます。実際、理念が日々実践されていることが、利用者アンケートからも分かりますし、今回の調査訪問でも実感できます。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に入会し、利用者の散歩時には近所の人と挨拶を交わしたり、ボランティアを受け入れたり、町主催の秋祭りや町内会主催の夏祭りなどに参加し、積極的に地域に溶け込もうとしています。最近では、近所の農家から野菜の差し入れがあったり、声をかけられて利用者・職員が畑に野菜採りに出かける事もあります。	○	町内会や町主催の娯楽的行事に参加するだけでなく、地域に貢献する行事への参加(掃除・花植え・草取りなど)も望みます。又、地域の方々にホームを開放し、理解を得たり来易くなる事を期待します。(例:ホーム祭りの開催)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者は評価を活かし大幅に改善しています。前回課題の「地域とのつきあい」は町内会に加入し、町内会行事に参加し、「運営推進会議の開催」は、3ヶ月に1回開催し「家族の意見汲み上げ」は運営推進会議開催やアンケート実施などで改善しています。「職員を育てる取り組み」は、数人外部研修を受けさせています。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を平成19年9月、11月、平成20年2月に、介護保険課、民生委員、町内会長、町会議員、包括支援センター、家族、職員(管理者、計画作成者)で開催しています。当初は現在の介護保険制の説明やホームの見学などから始まり、現在は避難訓練の目的別(火事・夜間・災害)実施などを話し合っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議には出席頂いていますが、それ以外にはその都度行政担当課に相談・打合せをしています。	○	介護相談員の受け入れを検討し、介護サービスの質の向上に努めることを期待します。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ホームページで色々な行事の様子が見られる他、毎月写真とその月の暮らしぶり、健康状態をお便りで知らせています。又時々「グループホーム光」便りを発行し、行事予定・職員異動・最近の行事模様などを家族にお知らせしています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の訪問時にその都度ホームから意見を伺うようにし、直接言い難いことや訪問が限定的な家族には、家族ノートを用意したり、アンケートを用意しています。又運営推進会議を3ヶ月に1回開催し、家族の意見・要望を汲み上げています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者のダメージを最小限に抑えるように、直前に伝えるようにしています。又職員の特定な利用者への思い入れがないように、利用者を平等に扱うように、職員を指導しています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月1回社内勉強会を開催し、外部研修は数人の職員に交通費、受講料をホームで負担して、受講させています。又、新人には研修計画を作成し、1日の仕事の流れを明示し、早く会得するように配慮しています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	半年に1回グループホーム連絡会に出席したり、交流のある同業者とサービスの向上のために、情報交換しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人や家族からグループホームに来る以前の生活歴の把握に努めています。空きがあれば、体験入所をして頂き、一ヶ月の体験入所から本入所になった場合もあり、利用者の納得がいくまで相談に応じています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	手仕事得意な利用者には折り紙を折って頂いています。玄関に飾ってある「白鳥」は、「グループホーム光」の月一回の便りにも掲載され立体的で良く出来た作品です。又畑仕事好きな利用者には、畑仕事や朝食前に水まきをして頂く等、活躍の機会を設けています。		
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	自然環境に恵まれた中で、それぞれのペースでゆったり過ごされていました。本人と家族からの希望を聞いて、利用者のペースに合わせた生活を心がけています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者の日々の観察から、例えばコミュニケーションが取りにくい方が、3、4時間毎にホーム内をうろろするのは、排泄の時間でトイレを探していることが分かり、介護計画に活かした場合があります。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	見直しは3ヶ月に一度行い、医師、看護師、家族との連携の元、生活の様子、食事、歩行、排泄の状況から現状に合った計画作成がなされています。病院を退院してから要介護度が回復した例もあり、成果が上がっています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者が、昔の馴染みの場所に行きたい場合は、職員が付き添い利用者ニーズに応えています。また、広い庭を活かして花や野菜の栽培をし、畑仕事が好きで利用者に喜ばれています。	○	今後は、ショートステイ、デイサービスなども管理者は視野に入れ前向きに検討しています。実現を期待します。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月に2回、主治医の往信があり、支援がなされています。看護師の往信は週1回、約3時間に及び利用者とは話をし利用者の健康状態の把握ができています。	○	高齢になると、歯に不調が出てくる利用者もいるため、訪問歯科の取り組みが望まれます。
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族、医者との話し合いは行われています。	○	終末期に対する対応指針を定め、家族・医師・医療機関との話し合い、連携を取り今後の支援が期待されます。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者のプライバシーを尊重し、例えば排泄介助が必要な時は、他の利用者に聞かれないように配慮をしています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の生活習慣をふまえ、朝食は時間がずれても本人の意向を尊重しています。朝はラジオ体操をしていますが、気がすすまない利用者には、無理強いはいはしない対応をしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理師の免許を持っている職員が中心になり、旬の材料を使うように心がけています。利用者が庭で取れた野菜を食材にして、一緒に洗っています。また、月に1、2回はおやつを作るクラブがあり、雛祭りの時は「桜もち」を作り楽しそうに食べている写真がありました。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的には、週2回の曜日を決めています。利用者の健康状態により、臨機応変に対応しています。朝のバイタルで血圧が高い場合などは、午後にもう一度バイタルチェックをしています。それでも無理な場合は、清拭に代えています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の後に進んで下膳をする利用者や、廊下に置かれている歩行補助具を使って自分からリハビリに励んでいる光景が見られました。また、音楽を聞くのが好きな利用者には、好きな曲が入ったカセットテープを部屋で聞いて過ごして貰うなどの支援をしています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	穏やかな日は、毎日の様に散歩に約30分ぐらい、出かけています。常にこもりがちな利用者には、職員が声かけをする様に努めています。近くのスナックを借り、行事の時に食事とカラオケを楽しんでいます。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間以外は、鍵をかけない実践がなされています。以前は夜に徘徊をしていた利用者が、日中の生活を昼寝をしないなどの工夫をし、徘徊がなくなったのは、日中の支援の成果の表れと思われています。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回避難訓練を実施しています。事務所には、緊急対応手順・連絡先が掲示され、消火器・煙探知機が設置されています。非常時の際、幸い1階の平屋建てで、ガラス戸を開ければ直ぐ広い前庭に逃げることができますし、職員が近所に住んでいますので、駆けつけることができる体制になっています。	○	定期的に年1回は消防署を呼んで消火訓練を、1回は職員・利用者で避難訓練をお勧めします。消防署を呼ぶ際には、救命救急講習会なども一緒に開き近所に声をかけること、又避難訓練時には近所の職員も駆けつける訓練を望みます。運営推進会議で提言されている目的別(火事・夜間・災害)に実施することを期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	調理師の免許を持っている職員が中心になり、栄養バランスを考慮した献立を作成しています。食事や水分摂取量を個人ごとに記録をし、支援がなされています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間は、日当たりもよく明るく清潔で、ゆったりとしています。利用者は思い思いに日向ぼっこしたり、雑談を交わしたり自分のペースで寛いでいます。季節感を出すため、子供の日の兜や花が飾られ、壁には行事の利用者写真が貼られています。又音楽が好きな方はカセットで好きな演歌を聴いたりしています。利用者が居心地が良いように配慮されています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室はゆったりと清潔にされており、利用者は馴染みの物(ベット、人形、箆笥、椅子、写真、置物等)を思い思いに持ち込み、自分の家にいるように居心地よく過ごしています。又利用者の希望に沿い畳敷きにしたり、角部屋にはきれいなセンスの良いカーテンをするなど配慮されています。		